

地域と中小企業を元気にする商工会議所

商工さかた

Monthly Commerce and Industry Newsletter

8

Vol.527

[今月の商工さかた]

- ★若者の地元定着を促進するために
- ★“この人に聞く” 酒田市商店街連合会新会長
- ★夏季誌上名刺広告

酒田商工会議所会報2018

総会員数 | 1,939事業所

[平成30年7月17日現在]

酒田商工会議所の
ホームページをご覧ください。

酒田商工会議所

検索

sinise

今年度の表紙のテーマ
「酒田のご長寿企業」

山形県産食品株式会社(1887年創業)

「山形県産食品株式会社」五代目社長となる前田昇さん。「飛鳥産の海草やトビウオなどの海産物を広く販売することで、飛鳥の振興に役立ちたい」と、「ふるさと納税の返礼品」やインターネットでの販売に力を注いでいる。



山形県産食品株式会社

酒田市大宮町1丁目11-1 tel.0234-24-7161
 営業時間／8:30～17:30 休日：土、日曜定休



昭和20年代の社屋と当時使用していた集金袋



飛鳥でとれたトビウオを使用した商品



手軽に醤油汁や薄塩汁でも美味しい



200年以上前から飛鳥に伝わる伝統食品の塩辛

地域の資源を活用し、地域の食文化を伝える 商品づくりに取り組んでいる。

山形県産食品株式会社の創業は1887年(明治20年)で、3代目当主の三治郎氏が歯科医から転業し「うさぎや油屋」の名称で米屋町(現一番町)で創業。当時は、燃料やランプ用の油、整髪油の販売を手掛けていた。その後、日用雑貨や食品の卸売業を中心に「うさぎや前田本店」、「前田商事(株)」と社名変更を重ね、時代に適応した事業を続けてきた。平成8年に現在の社名に変更し、卸売業と飛鳥産の海産物などを中心とした県内産の食品の販売も始めた。平成10年に乾燥ノリと地元松山地域の庄内麩などをパッケージにした手軽な味噌汁の具「味噌汁の友」を商標登録。現在は、独自のルートでの販売と企業が企画するプライベートブランドの製造にも対応している。